



犬山営業所 主任 **大野 一樹**

2020年に入社4年目を迎え、4月には以前からの希望が通りドライバー職から管理を担当する主任となった大野一樹さん。役職に就いてからの環境や心境の変化、今後の目標などについて伺いました。

**現在の仕事内容を教えてくださいいただけますか。**

事務所で時間管理や点呼などを行っています。ドライバーのメンタルチェックも仕事の1つで、一人ひとりと会話し、仕事に支障がないかなどを確認しています。加えて、現在は犬山営業所担当の10以上のコースを全て走れるのは自分のみのため、人手が足りない時はドライバーとしてコースに出る場合もあります。単純な道ならすぐに覚えられますが、複数件追加される

と数日かかります。ある時、他社からもらった新しい個配のルートは、コースは予め組まれていたものの、土地勘がない道だったため、もともとの方向音痴もあり、覚えるのに苦労しました。

**役職に就いてからは、どのような変化がありましたか。**

責任感が強くなりました。ドライバー時代は、小さなミスならあまり大事にはならなかったのですが、今は周囲の人や顧客の目もこちらに向くため、ミス1つ許せない緊張感のなかで仕事をしています。また複数人を管理する立場であり、各ドライバーに均等に対応するよう気を配っています。

入社してからの年数も浅く、年齢も若い人間に指示されるのも嬉しい状況ですが、トラック好きで入社したこともあり、楽しく運転しています。

主任、そして時にはドライバーと、役割を行き来している大野さん。経験やノウハウを積み重ね、これからも前向きに走り続けていくことでしょう。



ら同じ心配りをするのが理想ですが、スケジュールの関係もあり、なかなかうまくいかないのが苦しいところです。

何かあっても、それは自分の成長のため。良いことも悪いことも「こんな経験ができた」とプラスに考えます。ポジティブな性格で、人に怒られてもあまり嫌な気持ちはしません。「このやり方は違ったのかもしれない」と前向きに捉え、その時々や相手に合わせ臨機応変に対応できるよう努めています。

**これまでで一番苦労した出来事を教えてくださいいただけますか。**

入社して2年ほど経った頃、愛知県犬山市から静岡県富士市に向かうコースでのことです。悪天候だったため、細心の注意を払いながら、休憩を取りつつ

を快く思わない方もいると思います、先輩方に指示を出すのはどうしても気がつかってしまうのが悩みどころです。自信を持っての確かな指示を出せるよう、試行錯誤しています。双方が納得して、気持ち良く仕事ができるようになるのが理想です。

**仕事をする上で心がけていることはありますか。**

道路状況などによって、どうしても配達が遅れてしまう場合は、いつも以上に配慮して挽回するよう心がけています。例えば、平常時なら荷物をおろしてそのまま出発しますが、出発後に効率良く作業できるように、並べ方を工夫することで「遅れてしまって申し訳ない」という誠意を少しでも伝えられたらと思っています。もちろん普段か